



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチュ(韓国)
アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか? 大久保知宏 (宇都宮)
あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子 (東京八王子)
甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進! 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2021年 8月会報

●今月の強調目標

LT / IBC

今月のことば

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何も出来ないからである。

新約聖書 ヨハネによる福音書15章5節 田草川すみ江 選

今月の例会案内

日時：2021年8月10日(火) 18:45~20:00
会場：ホテル談露館
担当：クラブサービス・プログラム委員会
司会：杉田 雄二 君

プログラム

- ・開会点鐘 石川 和弘 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 石川 和弘 会長
- ・今月のことば 田草川すみ江 さん
- ・ワイズディナー
- ・モルックで楽しもう 指導:渡辺 徳之 君
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・甲府ワイズの歌
- ・閉会点鐘 石川 和弘 会長

モルックとは、フィンランド発祥の投擲競技で、木製のピン(モルック)を使って、12本の木製のピン(スキットル)を倒し、決められた採点方法に則り、50点丁度になったものが勝利となるものです。



7月のデータ

会員数 30名(うち広義会員1名)
例会出席 19名 メーキャップ なし
メネット:小倉香苗、ゲスト:大澤祥子
ビジター:長谷川あや子・久保田貞視(東京八王子)
出席率 66%

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

会員増強にご協力を!

あずさ部会員増強事業主査 標 克明



2年間の会長任期をなんとか終えバトンタッチができたこと、ほっとしていたら、今年度あずさ部の会員増強事業主査を仰せつかりました。甲府クラブは会員数が減り、今期30名で始まりました。会員が減ってしまった時の会長が会員増強

主査を務めていけるか自信はありませんが、私の役目は、東日本区とあずさ部のパイプ役で、結果としてあずさ部の会員数が増えればよいと思っています。

東日本区では「Change!2022」と銘打ち、ワイズ創立100周年となる2022年をゴールとして1997年に東日本区が発足した時の会員数1246名に会員を増やす会員増強運動を続けています。

今期の活動の一つに、各クラブの会長に会員増強活動状況について毎月報告をしてもらい、それをもとにZoomで「拡大MC事業委員会」を毎月末に開催します。第1回が7月29日に開催され、大川会員増強事業主任の目的である、「会費を払ってでも入りたくなるクラブにする」そのための説明と方針等が行われました。

また各クラブ会長に配布している「QRコード付きのカード(4ページ参照)」はコードを読み取ってもらうと各クラブの活動状況がわかり、会員増強の強力なツールになると考えていますので、どんどん使って役立ててください。東日本区で「拡大MC事業委員会」を行ったあと、あずさ部では「エクステンション委員会」を開く予定です。まだどのような話し合いになるかわかりませんが、随時、機会があれば結果報告をしていきたいと思えます。毎回お願いばかりで申し訳ありませんが今期は会員増強についてもご協力をおねがいします。

7月例会報告

甲府ワイズメンズクラブ7月例会は新年度のはじまりとなります。7月13日(火)、山梨YMCAコミュニティーセンター3階大澤英二記念ホール「ベテル」で行われました。

標直前会長の点鐘、2年間お疲れさまでしたという会員みなからの大きな拍手でスタートしました。



【会長バッジの引継ぎ】

相変わらずのコロナ禍でワイズソングは音楽を流し、心の中で歌い、ワイズの信条は司会である廣瀬会員が読み上げました。



【石川会長のあいさつ】

新旧会長のバッジ引継ぎの後、石川和弘新会長のあいさつはまず、コロナ禍にもかかわらずお越しいただいた、あずさ部長谷川あや子部長、久保田貞視書記の紹介、その後、今年度の方針などについて話しました。



【長谷川部長のあいさつ】

続いて、長谷川部長より、あずさ部は25周年を迎えるが、部長はチャーター順に選出されているとのこと、すでに、3周目になるが、一人も同じ人が就任していないこと、そのことをとても誇らしく思っているとのことでした。しかし、コロナ禍でみんなにリアルで会うことが難しくとても寂しい、早くコロナが過ぎ去ってほしい、楽しい思い出を力に頑張っていく。とお話いただきました。また、11月の山梨YMCAバザーとチャリティーランの時にはぜひ、来たいとおっしゃっていただきました。

その後、今月の言葉は石川和弘会長が仏教の言葉を選ばれ、それについて話されました。

次にYMCA会員25年表彰が露木総主事より行われ、仙洞田、石原基平、金丸の三会員が表彰されました。

続いて、いのちの電話、ボーイスカウト甲府第5団、露木総主事に支援金を標直前会長よりそれぞれ贈呈されました。

その後、総会が開催され、1部は標直前会長が議長を務めました。各委員会報告は6月に終了しているため、決算報告、褒賞が行われました。2部は石川和弘新会長が議長を務め、議事はすべて無事終了しました。

ハッピーバースデーの後、諸報告で田草川会員より、YWCA主催のピースフェスタのお知らせがあり、石川和弘会長の点鐘で閉会しました。(丹後佳代)

7月役員会報告

◎7月27日(火) 18:30～19:30 山梨YMCA

◎出席者:石川(和)・渡辺・廣瀬・田草川・丹後・マウン
トフォード・仙洞田

【報告事項】▽7月例会について:左欄例会報告参照
▽あずさ部第1回評議会について:下欄報告参照

【協議事項】▽8月例会について:担当クラブサービス・プログラム委員会、8/10(火)談露館で開催、メインプログラムは「モルックで楽しもう」、弁当あり、出欠の確認を取る。

▽10月例会(担当・会員増強委員会)のプログラム案が出された。

【その他】▽Change! 2022推進委員会より「動画で分かるワイズメンズクラブ」のカード100枚の配布があった。この活用について話し合った。8月例会で説明し、会員全員に配布する。

▽大澤祥子さんから(故英二会員と連名)70周年記念のお祝いをいただいた。使途については後日決定。
▽ZOOMの勉強会を開いてはとの提案があった。

(書記・廣瀬静男)

あずさ部第1回コロナ撲滅 ハイブリッド評議会

書記 廣瀬 静男

7月17(土)13:00～14:00、場所:東京YMCAコミュニティーセンターおよびリモート、参加者はZOOM 27名、会場出席者15名(議決権者名簿による)。甲府クラブは石川(和)、標、渡辺、丹後、廣瀬の5名がZOOM参加
長谷川部長の所信表明、主題は「道を拓く～愛と協力によって」、10クラブ171名(今年1月と同じ)で出発、例会を充実させ、新しいことに挑戦したい、一人ではできないこともみんなでやればできる、力を合わせて1年頑張りましょう、スマホを使ってワイズを紹介する新しい試みも始まった、大いに活用してほしいとの挨拶。

続いて第1号から第4号の議案が審議、承認された。

第1回東日本区役員会の報告に続き事業主査活動方針の発表。標EMC事業主査は、会員増強運動Change! 2022について説明、会員紹介カードの活用、各クラブがCS活動を充実させ、地域の人たちと協働し、ワイズの活動を認めてもらい、入りたいと思ってもらうことが会員増強につながるという方針を述べました。

続いてクラブ会長活動方針の発表、甲府クラブの石川会長は主題「ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前身!」を元気にアピールしました。

ZOOMは音声途切れる、誰が話しているか判りにくい等々デメリットもありますが、簡単に誰でも参加でき、遠く離れた人と一堂に会することができ、移動が不要等メリットもたくさんあり、とても便利なツールだと思いました。コロナが収束し、みんなと食事をしたり、歓談できる日が早く来ることを祈ります。



談話室

山梨英和認定こども園
での学び

石川 健 (2021.1.12 入会)

山梨英和のこども園は、カートメル(甲府)、ダグラス(韮崎)、プレストン(石和)の三園があり、それぞれにカナダの宣教師の名前がつけられています。小学校就学前の子どもたちの保育や教育を行う施設は大きく分けて、幼稚園、保育園、認定こども園の三種類があります。そして、英和は「幼保連携型の認定こども園」です。幼稚園は文科省、保育園は厚労省、こども園は内閣府がそれぞれ所管しています。幼保連携型のこども園の特徴を簡単に述べると、幼稚園と保育園の両方の特徴を併せ持った施設ということになります。通常保育園で勤務する職員は保育士、幼稚園で勤務する職員を教諭といいますが、こども園では、保育教諭といって保育士と教諭の両方の資格が必要です。

さて、多くの幼稚園では、本来小学校入



【円形園舎のプレストンこども園】

学後に学習するいわゆる読み書きそろばん、英語などを先行して実施しています。また、大都市では、有名大学が経営する附属小学校に入学するための予備校的な幼稚園もあるようです。でも、英和のこども園では、そのような学習は一切行わず、キリスト教保育を基本とし、落ち着いた雰囲気の中で子どもたちは、祈り、讃美歌を歌い、聖書のみ言葉に触れ、感謝の心を育てていきます。また、英和のこども園で子どもたちは、ひたすら遊びます。遊びというと、勉強の反対語のように使われることもありますが、こども園では遊ぶことが最も大切な学びだと考えています。子どもたちは自分たちで工夫し、仲間と協力し、試行錯誤しながら遊びを作り上げていきます。時にはトラブルも起こり、けんかをすることもあります。でも、その全てが大切な学習であり、そのような中から子どもたちは、友だちとの人間関係をはじめ、さまざまなルールを学んで行きます。山梨英和こども園では、人間としての歩みを始めたばかりの子どもたちにいま何が必要なのかを考え、子どもたちの育ちを大切に、先生方が一丸となって頑張っています。

(註:石川会員は山梨英和こども園の園長です)

今月は、入会間もないお二人の登場です。

「甲斐路ウォーキング」

杉田 雄二 (2020.8.11 入会)



定年退職して、まる10年が経ちました。子供たちの結婚を期に、第二の人生の生活の場を駅近のマンション暮らしと決め、これからは自分達のための人生を楽しもうと、妻と二人、甲府の北口に生活拠点を移しました。そして、今まで、あわただしい生活の中で、できなかったことや、やり残したことをやってきたいと思っています。

私は音楽とスポーツが好きで、仕事や子育ての多忙の中でも、オーディオやビックバンドの一員としてサクスを吹いたり、また、テニス、バトミントン、バレーボール、スキーなど、下手な横好きですが、いろんなスポーツもしてきました。現職中は心に余裕がなかったせいか、退職後やっと山梨の自然の素晴らしさに目が向いたという状況です。

そんな時、20年ほど前退職された先輩から、出版記念にいただいた「甲斐路ウォーキング」という本を思い出しました。今、手に取ってみると素晴らしい本です。私のできなかったことの一つである、郷土の自然に触れ、ふるさを見つめる機会にしたいと思い、この本で紹介されたところを、元気なうちにすべて歩こうと思い立ちました。



【山井今朝雄・著
甲斐路ウォーキング】

この本には、1コース、5キロから10キロ程度で、山梨の自然や地域の歴史、文化に触れながら、ウォーキングを安全に楽しむことができる、県内80コースが紹介されています。コロナ禍の中でしたが、去年は、自分達が暮らしている近場の「舞鶴城公園・武田家ゆかりの寺社」、東光寺など甲府五山を回る「甲斐の歴史を感じる板垣の里」、ちょっと山登り気分温泉街から山と公園を回る「湯村山(446M)・緑ヶ丘スポーツ公園」、夏場、川俣溪谷自然観察遊歩道を歩く「八ヶ岳山麓の雄大な自然と景観を楽しむ清里高原」のコースを妻とウォーキングしました。

まだまだ75コースも残っていますが、山梨県内を制覇し、駒ヶ岳、上高地、乗鞍と県外のトレッキングコースにも、夢をふくらませています。

スマホで気軽に会員増強を

東日本区の「Change! 2022推進委員会」では、会員獲得の手段として、『動画で分かるワイズメン



ズクラブ』のカードを作成しました。これは、カードのQRコードをスマートフォンで読み取ると、ワイズメンズクラブの紹介が写真や動画で分かりやすく説明されています。クラブに100枚のカードが送られてきました。会員の皆さんにお配りしますので、常にこのカードを携行し、機会あるごとに知人、友人、仕事の関係の方等にワイズを紹介していただきたいと思

います。スマホを持っていない方には、下記URLをお知らせください。

<https://comeon.ys-east.or.jp>

《今月のことばについて》～田草川すみ江

今月の聖書の箇所をと言われて真っ先に思い浮かんだのは、ぶどうの木の譬えです。ぶどうが沢山あるこの時期はいつもこの聖書の箇所が浮かびます。

ここでいうぶどうの木はキリストで、その枝が私たちです。昨年11月12日に天に召された、私達の敬愛する大澤英二先生は山梨YMCAという大きなぶどうの木だったように思います。勿論今ここにいるY'sのメンバーもそのぶどうの木の一枝一葉です。ぶどうの枝が木につながっていなければその実を結びません。Y'sのメンバーとして佳き実を結びたいものです。

大澤英二先生は神の子として、また山梨YMCAというぶどうの木として、その生涯を通されたような気がします。私たちY'sのメンバーも山梨YMCAを中心にこれからもぶどうの一枝一葉でありたいと思います。

★ ニコニコメッセージから ★

★標君、2年連続の会長のご奉仕本当にありがとうございました。コロナ禍で厳しい状況の中、ご苦労も多かったことでしょう、感謝。

(石原祥平会員から先月の例会後頂きました)

＊これからの行事予定＊

8月14日(土) 第29回アジア太平洋地域大会(Zoom)

8月15日(日) 前期区費納期

8月24日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)

9月14日(火) 9月例会

9月28日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)



生きる力を育む

山梨YMCA 総主事 露木淳司

夏休みのプログラムが始まりました。

学童保育や発達支援の子どもたちが早朝から大勢来て、とても賑やかです。毎日、日替わりのスペシャルプログラムを楽しんでいます。そして、夏休みならではのプログラムと言えば、キャンプです。今年は控えめに一泊二日を2本企画しました。合わせて45名の子どもたちが参加します。もう一つの夏休みの定番「わいわい地球塾」には23本のプログラムに延べ365名の子どもたちの予約が入っています。半分以上のプログラムがキャンセル待ちになっています。ワイズの皆様からの支援をお受けしていたフクロウキャンプについては残念ながら今年も中止とさせていただきます。

コロナ禍で募集活動は自粛、例年行っていた県下の小学校への案内書配布を控え、現在の会員と過去2年の参加者のみに案内書をお送りしただけでした。にもかかわらず、クチコミとホームページからの情報を得て、初めての参加者もたくさん集まりました。つまり一般公募はほとんどしなかったのにいっぱいになった。この現象は一体何を意味するのでしょうか？

コロナの感染は収まるどころか、悪化の一途をたどっています。ところが保護者の皆様は、子どもたちにアウトドアの体験をさせたい、と思っているということです。昨年は企画自体、自粛してしまったのですが、今年はコロナ対策を万全にして敢えて募集することにしました。キャンプは、自然体験だけでなく、同時に社会体験、生活体験を可能にします。子供たちの生きる力を育む貴重な教育活動なのです。世の中全体が、イベントの中止や施設の閉鎖が相次ぐ風潮にある中で、適切な対策を講じて、勇気と自信を持って、子どもたちに貴重な体験学習の場を提供する。困難に立ち向かう姿勢を示すことが功を奏したと言えるでしょう。

この夏、何としてもこうした保護者と参加する子どもたちからの期待に応えたい、と願います。そして何とか夏が終わった時に、やってよかったと思えるように、細心の注意を払いつつ、最善を尽くします。

8月アニバーサリー 該当者なし

8月 ハッピーバースデー

メン:荒川 洋一(12日) 渡辺 徳之(12日)

石原 祥平(14日)

ネット:中島 雅子(12日)